

みかん畑をつぐまで

6年 説明文 20番

名前

坂本さんの家は、代々みかん農家です。坂本さんは、子どものころから、父が斜面の畑で働く姿を見て育ちました。夏には草かりをする父のあとを歩いて歩き、冬には剪定ばさみの音を聞きながら宿題をすることもありました。収穫の時期になると、家じゅうが朝から晩まで忙しくなるのも、坂本さんにとっては当たり前の風景でした。

けれど、高校を卒業するとき、坂本さんは、すぐに家業を継ぐつもりはありませんでした。花を育てたり、かざったりすることに興味があり、となり町の花屋でアルバイトを始めました。畑の仕事は、父や祖父の代で十分だと、そのころは考えていたのです。

気持ちが変わったのは、父がひざを痛めて、収穫の時期に一人で作業をするのが難しくなったときでした。父から「今年だけ、手伝ってくれないか」と言われ、坂本さんは、しばらくの間だけのつもりで、みかん畑に入りました。

実際に働いてみると、みかんづくりには、思っていた以上に多くの作業がありました。花がさく時期には人工受粉をして実をつきやすくし、実がまだ小さいうちに、木についている葉の数に合わせて摘果をして数を減らします。そうしないと、一つ一つの実に十分な栄養がいきわたらないからです。朝早くから畑に出て、木を一本ずつ見て回る毎日、思っていたよりも体力のいる仕事でした。

秋には、枝の形を見ながら剪定をし、日当たりと風通しを整えます。坂本さんは、同じ木でも、枝の切り方一つで、次の年の実のなり方が変わることになりました。花屋で花の手入れをしていたときの、植物の様子を見る感覚が、思っていたより役に立ちました。

今では、坂本さんは、父といっしょに畑に立つ日が増えました。出荷した箱に、自分で見つけた切り方で育てたみかんが入っていると分かると、うれしい気持ちになります。手伝うだけのつもりだった仕事、いつの間にか自分の仕事になっていたのです。

わたしは、続けているうちに、初めは思っていなかった形で自分の仕事になっていくこともあるのだと感じました。

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません

(1) 坂本さんが、家業を継ぐ前に考えていたことを、文章の言葉を使って書きましょう。

(2) 坂本さんの気持ちが変わるきっかけとなったのは、どのような出来事でしたか。最も適切なものを一つ選びましょう。

新しい農業機械を買ってもらったこと

父がひざを痛めて、収穫の時期に一人で作業するのが難しくなったこと

ウ 花屋のアルバイトをやめさせられたこと

エ みかんの値段が下がったこと

(3) 坂本さんの父が、坂本さんにかけた言葉を、文章からそのまま書きぬきましょう。

(4) 次のうち、筆者の考え(意見)が述べられている一文を一つ選びましょう。

ア 坂本さんの家は、代々みかん農家です。

イ 父から「今年だけ、手伝ってくれないか」と言われました。

ウ わたしは、続けているうちに、初めは思っていなかった形で自分の仕事になっていくこともあるのだと感じました。

エ 秋には、枝の形を見ながら剪定をします。

(5) 坂本さんは、今、みかんづくりのどんなところにおもしろさを感じていますか。四十字以上六十字以内で書きましょう。

(6) あなたにも、坂本さんのように、思っていなかった形で好きになったり、続けていくうちに気づいたりしたことはありますか。理由をつけて書きましょう。

書き方のヒント

「わたしは、思っていなかった形で気づいたのは、」です。」の形で書き始めよう。

理由には、自分の経験や、これまでにあった出来事を入れる。

みかん畑をつぐまで

解答

6年 説明文 20番

名前

坂本さんの家は、代々みかん農家です。坂本さんは、子どものころから、父が斜面の畑で働く姿を見て育ちました。夏には草かりをする父のあとを歩いて歩き、冬には剪定ばさみの音を聞きながら宿題をすることもありました。収穫の時期になると、家じゅうが朝から晩まで忙しくなるのも、坂本さんにとっては当たり前の風景でした。

けれど、高校を卒業するとき、坂本さんは、すぐに家業を継ぐつもりはありませんでした。花を育てたり、かざったりすることに興味があり、となり町の花屋でアルバイトを始めました。畑の仕事は、父や祖父の代で十分だと、そのころは考えていたのです。

気持ちが変わったのは、父がひざを痛めて、収穫の時期に一人で作業をするのが難しくなったときでした。父から「今年だけ、手伝ってくれないか」と言われ、坂本さんは、しばらくの間だけのつもりで、みかん畑に入りました。

実際に働いてみると、みかんづくりにには、思っていた以上に多くの作業がありました。花がさく時期には人工受粉をして実をつきやすくし、実がまだ小さいうちに、木についている葉の数に合わせて摘果をして数を減らします。そうしないと、一つ一つの実に十分な栄養がいきわたらないからです。朝早くから畑に出て、木を一本ずつ見て回る毎日、思っていたよりも体力のいる仕事でした。

秋には、枝の形を見ながら剪定をし、日当たりと風通しを整えます。坂本さんは、同じ木でも、枝の切り方一つで、次の年の実のなり方が変わることになりました。花屋で花の手入れをしていたときの、植物の様子を見る感覚が、思っていたより役に立ちました。

今では、坂本さんは、父といっしょに畑に立つ日が増えました。出荷した箱に、自分で見つけた切り方で育てたみかんが入っていると分かると、うれしい気持ちになります。手伝うだけのつもりだった仕事、いつの間にか自分の仕事になっていたのです。

わたしは、続けているうちに、初めは思っていなかった形で自分の仕事になっていくこともあるのだと感じました。

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません

(1) 坂本さんが、家業を継ぐ前に考えていたことを、文章の言葉を使って書きましよう。

(例) 花を育てたり、かざったりすることに興味が、あり、畑の仕事は父や祖父の代で十分だと考えていたこと。

(2) 坂本さんの気持ちが変わるきっかけとなったのは、どのような出来事でしたか。最も適切なものを一つ選びましよう。
ア 新しい農業機械を買ってもらったこと

イ 父がひざを痛めて、収穫の時期に一人で作業するのが難しくなったこと

ウ 花屋のアルバイトをやめさせられたこと

エ みかんの値段が下がったこと

(3) 坂本さんの父が、坂本さんにかけた言葉を、文章からそのまま書きぬきましよう。

今年だけ、手伝ってくれないか

(4) 次のうち、筆者の考え(意見)が述べられている一文を一つ選びましよう。

ア 坂本さんの家は、代々みかん農家です。

イ 父から「今年だけ、手伝ってくれないか」と言われました。

ウ わたしは、続けているうちに、初めは思っていなかった形で自分の仕事になっていくこともあるのだと感じました。

エ 秋には、枝の形を見ながら剪定をします。

(5) 坂本さんは、今、みかんづくりのどんなところにおもしろさを感じていますか。四十字以上六十字以内で書きましよう。

(例) 同じ木でも、枝の切り方一つで次の年の実のなり方が変わるところに、おもしろさを感じている。

(6) あなたにも、坂本さんのように、思っていなかった形で好きになったり、続けていくうちに気づいたりしたことはありますか。理由をつけて書きましよう。

(例) わたしは、そうじが好きではありませんでした。けれど、自分の当番の日にきれいにできると、次の日も気持ちよく教室に入れることに気づきました。坂本さんのように、続けているうちに感じ方が変わることがあるのかもしれない。

書き方のヒント

「わたしは、思っていなかった形で気づいたのは、」です。」の形で書き始めよう。

理由には、自分の経験や、これまでにあった出来事を入れる。

解答・解説 みかん畑をつぐまで（6年・説明文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。School Stock の書き下ろしで、実際にあった取材ではありません。仕事の中身は、厚生労働省の職業情報提供サイト（job tag）などの公的な資料で確かめてから書いています。子どもに紹介するときは、実在の人の話ではないことを一言そえてください。

問1 （例）花を育てたり、かざったりすることに興味があり、畑の仕事は父や祖父の代で十分だと考えていたこと。

第二段落に書かれています。「家業を継ぐつもりはなかった」ことと、その理由が書けていれば正かいです。

問2 イ

第三段落に「気持ちが変わったのは、父がひざを痛めて…」とあり、その出来事が書かれています。

問3 今年だけ、手伝ってくれないか

第三段落の、父の言葉をそのまま書きぬきます。

問4 ウ

文末が「～と感じました」となっており、筆者の意見です。ア・イ・エは坂本さんについての事実です。

問5 （例）同じ木でも、枝の切り方一つで次の年の実のなり方が変わるところに、おもしろさを感じている。

第五段落がもとになります。「枝の切り方」と「実のなり方が変わる」との二点が入っていれば正かいです。四十～六十字を目安にします。

問6 （例）わたしは、そうじが好きではありませんでした。けれど、自分の当番の日にきれいにできると、次の日も気持ちよく教室に入れることに気づきました。坂本さんのように、続けているうちに感じ方が変わることがあるのかもしれない。

答えは自由です。自分の経験を理由として書けているかを見ます。「思っていなかった形で自分のものになる」という文章の内容を、自分の言葉で言いかえられていれば正かいです。